

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立座間谷戸山公園

指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所東部センター

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況(1~9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

| 報告月 | 受理日 | 確認通知日 | 備考(確認事項等) |
|-----|-------|--------|--------------------------|
| 4月 | 5月10日 | 5月16日 | 月報等で適切に業務が行われていることを確認した。 |
| 5月 | 6月10日 | 6月20日 | 月報等で適切に業務が行われていることを確認した。 |
| 6月 | 7月8日 | 7月19日 | 月報等で適切に業務が行われていることを確認した。 |
| 7月 | 8月10日 | 8月18日 | 月報等で適切に業務が行われていることを確認した。 |
| 8月 | 9月8日 | 9月14日 | 月報等で適切に業務が行われていることを確認した。 |
| 9月 | 10月7日 | 10月21日 | 月報等で適切に業務が行われていることを確認した。 |

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

- 本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため県民や市民団体と協働や連携して調査、保全活動を推進する。
- 木道等の施設、樹木等の安全のための点検、清掃、補修等を行い来園者の安全確保に努めるとともに防災・防犯のため、業者、警察、関係機関との連携を図る。
- 朝礼でのあいさつ唱和や研修を通じて来園者への気持良い対応に努めるとともにアンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努める。
- 利用促進方策として、従来のイベントを継続するとともに里山の自然や文化への探求心を深めるための新たなイベントを実施する。

<実施状況>

- 月例の運営会議を実施するとともに、市民団体と協働で山野草・ホタル・カエル等の生息調査を実施した。また、里山環境の保全、整備活動を市民団体と協働でほぼ毎月行った。

運営会議 4月~9月 5回 参加者95名

里山保全隊、花植えたい 4月~9月 37回 参加者229名

- 園内巡視は毎日行い、清掃や必要に応じて支障木の処理、施設補修等を行った。特に、台風15号の被害木処理について来園者の安全を第一に応急対策をした。
- 毎日、朝礼でのあいさつ唱和を行い、よりよい接遇に努めるとともに、アンケートによる利用者満足度調査を9月に実施した。アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努めた。

(継続用紙)

・利用促進方策として、従来のイベントである「米作り隊」「自然観察会」等を継続するとともに「やとやま講座」については、内容を検討し、回数も4回から7回に増やし、上期は6回実施した。また、「生き物観察エリア」の名称を「みちくさ広場」とし、生き物のモニタリングを市民団体とともに行った。

やとやま講座(しいたけ作り体験等) 4月～8月 6回 参加者133名

<提案内容の概要(事業実施以外の提案の場合)>

- ・安全管理方策として樹林地について、枯損木や倒木事故防止の重点点検を行う。
- ・業務の効率化コスト縮減を図る。

<実施状況(事業実施以外の提案の場合)>

- ・台風15号被害木が非常に多かったので、緊急に重点点検を行い危険な個所については応急措置として直営でできるものは緊急に処理し、時間のかかる個所は県と協議しながら通行止め等を行い、事故防止に努めた。
- ・大震災による節電対策として、園内及び室内の間引き照明や井戸ポンプ運転時間の短縮等の取り組みを行い電気料金を前年度比で27%削減できた。

<提案内容の概要(今後実施予定のもの)>

- ・樹林地の安全な管理を行う(台風15号被害木の段階的な処理を行う)。
- ・最大のイベントである「谷戸山公園まつり」を円滑に実施する。
- ・地震対応訓練を行う。

<実施状況(今後実施予定のもの)>

- ・台風15号被害木が非常に多かったので、県と協議しながら処理し、安全対策を強化する。
- ・11月27日に「谷戸山公園まつり」を実施する。
- ・東口広場は市の広域避難場所に指定されていることから、大規模地震に備え、市の協力を得て訓練を行う。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

| | 収入額 | | | | 支出額 | 収支差額 |
|---------------|--------|--------|------|-------|--------|---------|
| | 収入合計 | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | | |
| 年間予算額 今期 | 59,000 | 59,000 | 0 | 0 | 59,000 | 0 |
| 前期 | 59,000 | 59,000 | 0 | 0 | 59,000 | 0 |
| 上(下)半期 予算額 | 29,350 | 29,350 | 0 | 0 | 29,350 | 0 |
| 4月 | 3,657 | 3,657 | 0 | 0 | 3,159 | 498 |
| 5月 | 3,817 | 3,817 | 0 | 0 | 3,640 | 177 |
| 6月 | 7,393 | 7,393 | 0 | 0 | 5,369 | 2,024 |
| 7月 | 4,146 | 4,146 | 0 | 0 | 6,152 | △ 2,006 |
| 8月 | 4,045 | 4,045 | 0 | 0 | 4,132 | △ 87 |
| 9月 | 6,292 | 6,292 | 0 | 0 | 4,551 | 1,741 |
| 今年度 半期計 | 29,350 | 29,350 | 0 | 0 | 27,003 | 2,347 |
| 前年度 同期計 | 28,017 | 28,017 | 0 | 0 | 25,591 | 2,426 |

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

⇒該当なし

| | 金額 | 工事箇所・内容 |
|-----|----|---------|
| 上半期 | | |
| 下半期 | | |
| 総額 | | |

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

| | 内容 | 金額(千円) |
|--------|----|--------|
| 収入の状況 | | |
| | | |
| | | |
| 支出の状況 | | |
| | | |
| | | |
| 積立等の状況 | | (期首) |
| | | (期末) |

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

| | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 前年対比増減率 |
|----|---------|----------|---------|
| 4月 | 31,520人 | 35,539人 | △11.3% |
| 5月 | 31,941人 | 36,228人 | △11.8% |
| 6月 | 35,971人 | 37,878人 | △5.0% |
| 7月 | 32,802人 | 30,820人 | 6.4% |
| 8月 | 30,052人 | 32,383人 | △7.2% |
| 9月 | 33,312人 | 31,935人 | 4.3% |

| | 目標利用者数 | 利用者数 | 前年同月利用者数 | 目標対比増減率 | 前年対比増減率 |
|---------|--------|----------|----------|---------|---------|
| 今年度上半期計 | なし | 195,598人 | 204,783人 | | △4.5% |
| 今年度下半期計 | | | | | |

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
 ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>
 ①②該当なし

5 苦情・要望等の状況 受付件数（うち施設所管課受付分）

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 4月 | (0) | (0) | (0) | 1 (0) | 1 (0) | 2 (0) |
| 5月 | 2 (0) | (0) | 1 (0) | (0) | 2 (0) | 5 (0) |
| 6月 | 1 (0) | (0) | 1 (0) | (0) | 1 (0) | 3 (0) |
| 7月 | 2 (0) | (0) | 1 (0) | (0) | (0) | 3 (0) |
| 8月 | (0) | 2 (0) | (0) | 1 (0) | 1 (0) | 4 (0) |
| 9月 | 1 (0) | (0) | 1 (0) | (0) | 2 (0) | 4 (0) |
| 合計 | 6 (0) | 2 (0) | 4 (0) | 2 (0) | 7 (0) | 21 (0) |

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

| 分野 | 概要 | 対応状況 |
|-------|-------------------|-----------------|
| 施設・設備 | ・アスファルト舗装はよろしくない | ・バリアフリー化のために行った |
| | ・台風の影響が早く片付いた | ・快適な管理に努める |
| 職員対応 | | |
| 事業内容 | | |
| その他 | ・ノーリードの犬を注意してほしい | ・今後も機会あるごとに注意する |
| | ・野鳥撮影カメラマンのマナーが悪い | ・今後も指導する |
| | | |

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

| 発生日 | 概要・対応状況等 |
|-----|----------|
| 月 日 | |
| 月 日 | |
| 月 日 | |
| 月 日 | |
| 月 日 | |

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

| 実施日 | 対応者等 | 経緯・調査内容 | 調査結果 |
|-----|------|---------|------|
| 月 日 | | | |
| 月 日 | | | |
| 月 日 | | | |

9 下半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

| | |
|-------|--|
| 指定管理者 | <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響で、春は来園者が減少したが、その後、回復してきた。また、節電対応では利用者の理解を求めつつまた、井戸ポンプの運転制限では自然環境にも配慮しつつ行った。 ・犬の糞が目立つため、「ウンチの落とし物」掲示（糞が落ちていた日を記載するとともに、糞を持ち帰るようお願いをする看板）をしたところ、減少してきた。 ・台風15号による倒木等の被害が多数にのぼり、園路の通行止めや除去対策等安全管理に努めた。 |
| 施設所管課 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月、5月の来園者は前年度に比べ1割程度減少しているが、夏の猛暑にもかかわらず自然の木陰等が多い当公園を訪れる来園者が回復してきている傾向が見られる。 ・園内街灯の間引き、水循環ポンプの運転時間短縮、管理事務所内の照明や冷暖房の節電対応については公園利用者の理解を得ながら、前年度比で27%節減するなど、工夫しながら、自然生態にも配慮した対応を行った努力の結果が見られる。 ・台風の影響により倒木等が多数発生したが、園路の清掃を速やかに行い、来園者に気持ちよく公園を利用していただけるよう対応を図った。今後指定管理者と枯損木についての対応など協議しながら、より安全な公園となるよう管理に努めていきたい。 |